



Copyright © 2021 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. Box連携モジュールとは
 - 2.1.1. Box連携 IM-LogicDesignerタスク
 - 2.1.2. Box連携 im-BizAPI
 - 2.1.3. Boxエコシステムソリューション
 - 2.2. Box連携モジュールの利用方法
- 3. システム要件
 - 3.1. intra-mart Accel Platform
 - 3.2. 検証済み環境
 - 3.2.1. サーバ環境
 - 3.2.2. クライアント環境
- 4. セットアップ (Box)
 - 4.1. 管理・開発コンソールでの設定
 - 4.2. BoxユーザIDの確認
- 5. セットアップ (intra-mart)
 - 5.1. モジュールの追加
 - 5.2. 設定ファイルのアップロード
 - 5.3. BoxユーザIDとiAPユーザのマッピング
 - 5.4. BoxユーザIDとiAPユーザの一括マッピングジョブ
 - 5.4.1. セットアップ方法
 - 5.4.2. ジョブ実行方法
- 6. Box連携 IM-LogicDesignerタスク
 - 6.1. 概要
 - 6.2. 各タスクの説明
 - 6.2.1. ユーザ切り替えタスク
 - 6.2.1.1. 入力値
 - 6.2.1.2. 出力値
 - 6.2.2. Boxストレージ取得タスク
 - 6.2.2.1. 入力値
 - 6.2.2.2. 出力値
 - 6.2.3. ファイルをロックタスク
 - 6.2.3.1. 入力値
 - 6.2.3.2. 出力値
 - 6.2.4. ファイルをアンロックタスク
 - 6.2.4.1. 入力値
 - 6.2.4.2. 出力値
 - 6.2.5. メタデータ取得タスク
 - 6.2.5.1. 入力値
 - 6.2.5.2. 出力値
 - 6.2.6. メタデータ作成タスク
 - 6.2.6.1. 入力値
 - 6.2.6.2. 出力値
 - 6.2.7. メタデータ更新タスク
 - 6.2.7.1. 入力値
 - 6.2.7.2. 出力値
 - 6.2.8. メタデータ削除タスク
 - 6.2.8.1. 入力値
 - 6.2.8.2. 出力値
 - 6.2.9. 共有リンク取得タスク
 - 6.2.9.1. 入力値
 - 6.2.9.2. 出力値
 - 6.2.10. 共有リンク作成タスク

- 6.2.10.1. 入力値
- 6.2.10.2. 出力値
- 6.2.11. 共有リンク削除タスク
 - 6.2.11.1. 入力値
 - 6.2.11.2. 出力値
- 6.2.12. ファイルリクエスト取得タスク
 - 6.2.12.1. 入力値
 - 6.2.12.2. 出力値
- 6.2.13. ファイルリクエストコピータスク
 - 6.2.13.1. 入力値
 - 6.2.13.2. 出力値
- 6.2.14. ファイルリクエスト更新タスク
 - 6.2.14.1. 入力値
 - 6.2.14.2. 出力値
- 6.2.15. ファイルリクエスト削除タスク
 - 6.2.15.1. 入力値
 - 6.2.15.2. 出力値
- 6.2.16. ファイル・フォルダID取得タスク
 - 6.2.16.1. 入力値
 - 6.2.16.2. 出力値
- 6.2.17. 埋め込みウィジェットタグ取得タスク
 - 6.2.17.1. 入力値
 - 6.2.17.2. 出力値
- 6.2.18. コラボレータ追加・更新タスク
 - 6.2.18.1. 入力値
 - 6.2.18.2. 出力値
- 6.2.19. コラボレータ削除タスク
 - 6.2.19.1. 入力値
 - 6.2.19.2. 出力値
- 7. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
2021-12-01	初版
2022-06-01	第2版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none">▪ 「メタデータ取得タスク」に <code>templateName</code>, <code>scope</code>パラメータを追加。▪ 「メタデータ作成タスク」に <code>templateName</code>, <code>scope</code>パラメータを追加。▪ 「メタデータ更新タスク」に <code>templateName</code>, <code>scope</code>パラメータを追加。▪ 「メタデータ削除タスク」に <code>templateName</code>, <code>scope</code>パラメータを追加。▪ 「ファイルをロックタスク」に <code>expiresAt</code>, <code>isDownloadPrevented</code>パラメータを追加。▪ 「システム要件」の検証済み環境の制限を撤廃。
2022-08-31	第3版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none">▪ 「共有リンク作成タスク」にて、一部パラメータが無効となる場合の説明を追加。▪ 「セットアップ (Box)」のカスタムアプリの設定手順の説明を変更。
2022-12-01	第4版 下記を追加しました。 <ul style="list-style-type: none">▪ 「セットアップ (intra-mart)」にて、intra-mart Accel Platform ユーザとBoxユーザIDの一括マッピングジョブに関する説明を追加。
2023-04-01	第5版 下記を追加しました。 <ul style="list-style-type: none">▪ 「ファイル・フォルダID取得タスク」の説明を追加。▪ 「埋め込みウィジェットタグ取得タスク」の説明を追加。▪ 「コラボレータ追加・更新タスク」の説明を追加。▪ 「コラボレータ削除タスク」の説明を追加。
2023-10-01	第6版 下記を追加しました。 <ul style="list-style-type: none">▪ 「共有リンク作成タスク」に <code>canEdit</code>, <code>password</code>パラメータを追加。
2025-04-01	第7版 下記を追加しました。 <ul style="list-style-type: none">▪ 「はじめに」に Box エコシステムソリューションに関する説明を追加。

Box連携モジュールとは

Box連携モジュールは Box と intra-mart Accel Platform を連携するための機能です。

Box連携モジュールの特徴は以下の通りです。

- Box連携 に関する IM-LogicDesignerタスクを提供
- Box連携 に関する im-BizAPIを提供
- Box エコシステムソリューション

Box連携 IM-LogicDesignerタスク

Box連携 に関する IM-LogicDesignerタスクをロジックフローに配置することで、Box上のファイルの操作を実現できます。

詳細は「[Box連携 IM-LogicDesignerタスク](#)」を参照してください。

Box連携 im-BizAPI

Box連携 に関するim-BizAPIは、以下の開発モデルで提供されています。

- スクリプト開発モデル
- JavaEE開発モデル

im-BizAPIの詳細は「[API ドキュメント](#)」を参照してください。

i コラム

- スクリプト開発モデルのim-BizAPI例：
<https://api.intra-mart.jp/iap/apilist-ssjs/doc/application/BoxClient/index.html>
- JavaEE開発モデルのim-BizAPI例：
https://api.intra-mart.jp/iap/javadoc/all-dev_apidocs/jp/co/intra_mart/foundation/box/api/BoxClient.html

Boxエコシステムソリューション

Boxエコシステムソリューションとは、Boxをさらに活用するためのアプリケーションや連携サービスの総称です。

Box連携モジュールは Boxエコシステムソリューションとして登録されています。

Boxエコシステムソリューションを利用する場合、APIコール数のカウント対象外（課金対象外）となることがあります。

- 「Box連携 IM-LogicDesignerタスク」を利用したAPIコールは課金対象外です。
- 「Box連携 im-BizAPI」を基に生成したインスタンスを介するAPIコールは課金対象外です。

i コラム

課金対象外の前提条件は以下の通りです。

- Box連携モジュール 利用ガイドのセットアップ手順に従って、Box管理・開発者コンソール画面と intra-mart Accel Platform 側の設定画面から正しく設定されていること
- スクリプト開発モデル im-BizAPI、JavaEE開発モデル im-BizAPI、Box連携 IM-LogicDesignerタスクからのAPIコールであること

i コラム

以下のようなケースでは課金対象です。（一例）

- intra-mart Accel Platform 同梱の Box Java SDK ライブラリを直接利用したAPIコール
- IM-LogicDesignerのREST定義を利用した Box REST API インタフェースに対するAPIコール
- IM-LogicDesignerのSSHタスクと、他の Box SDK （Node SDK、Python SDK など）を組合せたAPIコール

Box連携モジュールを利用するには、事前にBoxの管理コンソールにて intra-mart Accel Platform をカスタムアプリとして登録する必要があります。

また、Box開発コンソールから接続設定ファイルをダウンロードし、Box連携モジュールの「設定ファイルアップロード」画面にて登録する必要があります。

詳細は「[セットアップ \(Box\)](#)」、「[セットアップ \(intra-mart\)](#)」を参照してください。

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

項目

- intra-mart Accel Platform
- 検証済み環境

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2021 Winter(Dandelion) 以降のご利用のバージョンに準じます。

検証済み環境

- 以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせです。

サーバ環境

- intra-mart Accel Platform 2021 Winter(Dandelion) の検証済みサーバ環境に準じます。

クライアント環境

- intra-mart Accel Platform 2021 Winter(Dandelion) の検証済みクライアント環境に準じます。

項目

- 管理・開発コンソールでの設定
- BoxユーザIDの確認

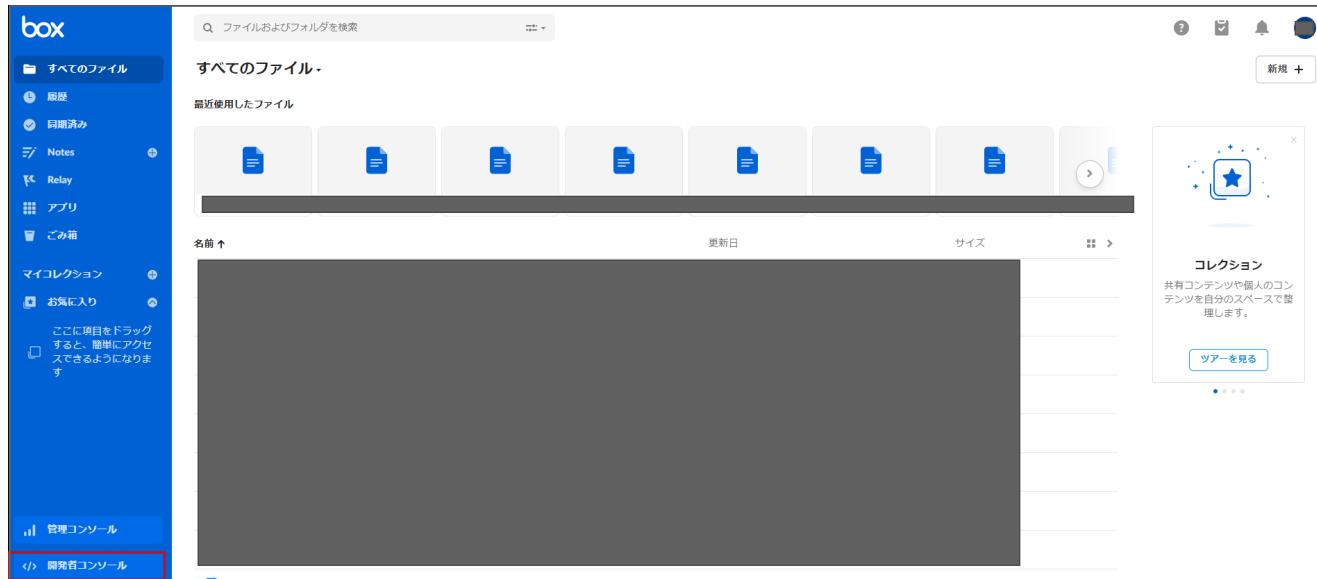
ここでは Box連携 のインストールと設定手順のうち、Box管理者が行う事項について説明します。

設定は、Box の管理コンソール画面、および、開発コンソール画面にて行います。

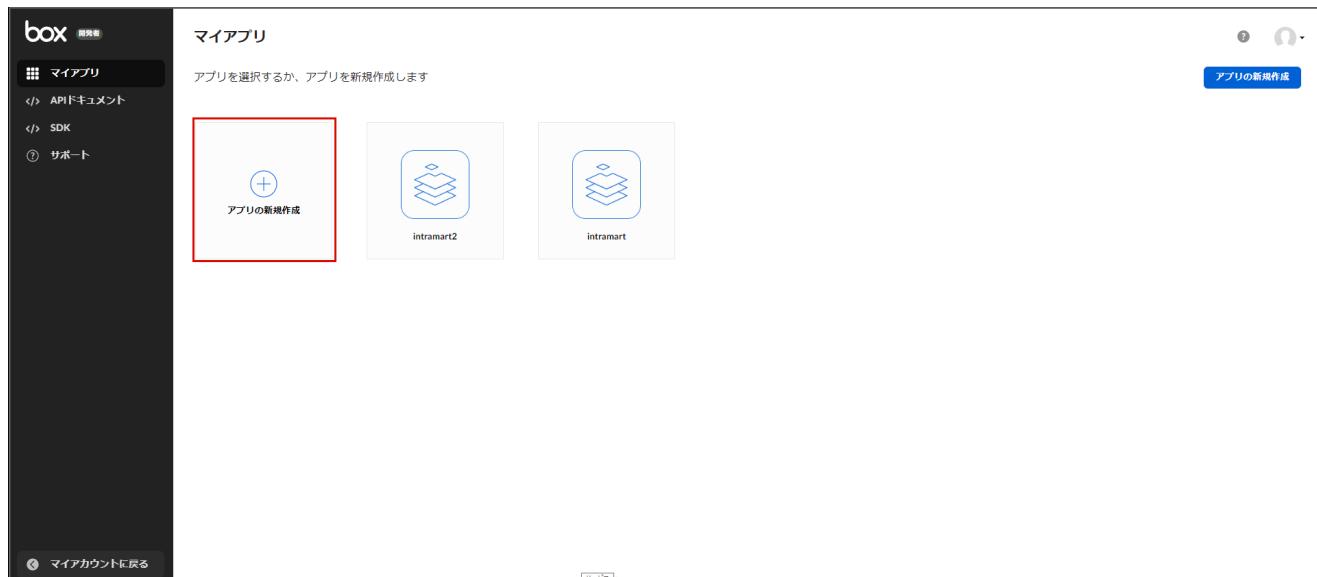
管理・開発コンソールでの設定

intra-mart Accel Platform から Box に接続をするためには、Box に管理者としてログインし、以下の設定を行う必要があります。

1. Box に管理者としてログインし、左メニュー下部の「開発者コンソール」をクリックします。



2. 「アプリの新規作成」をクリックします。



3. 「カスタムアプリ」を選択します。

マイアプリ > アプリの新規作成

最初にアプリタイプを選択します

カスタムアプリ

多くのアプリと統合に最適です。サーバー間のアプリとエンドユーザーアプリの両方をサポートしています

- 目的の認証方法 (ユーザーまたはEnterprise) を選択します
- アプリケーションのアクセス権限 (スコープ) を選択します
- Webhookを作成します
- アプリをアプリギャラリーに公開するか、統合として公開します
- Enterprise内のすべてのファイルおよびユーザーへのアクセス権限をリクエストします

[ドキュメントを表示](#)

アクセス制限付きアプリ

Box Viewアプリや、他のアプリケーションでBox内のコンテンツをプレビューするのに最適です

- アプリトークンを使用してサーバー側で認証します
- Enterprise内のすべてのファイルおよびユーザーへのアクセス権限をリクエストします
- 一部のAPIエンドポイントにアクセスできません
- スコープを複数できません。デフォルトのスコープが設定されています
- Enterpriseにデータを保存できません
- アプリをアプリギャラリーに公開できません

[ドキュメントを表示](#)

Box Custom Skill

外部サービスを使用してメタデータでコンテンツを強化するアプリに最適です

- Box内のファイルの更新に基づいて、サードパーティのサービスにコンテンツを送信します
- Boxが提供するセキュアトークンを利用して、サービス間で簡単かつ安全にデータを転送します
- サードパーティのサービスから的情報について、Boxファイルにメタデータを作成します
- スキルはアプリギャラリーに公開できません

[ドキュメントを表示](#)

[マイアカウントに戻る](#)

4. 認証方式として「サーバー認証 (JWT使用)」を選択し、「アプリ名」に任意のアプリケーション名を入力し、「アプリの作成」ボタンをクリックします。

マイアプリ > アプリの新規作成

最初にアプリタイプを選択します

カスタムアプリ

多くのアプリと統合に最適です。サーバー間のアプリとエンドユーザーアプリの両方をサポートしています

- 目的の認証方法 (ユーザーまたはEnterprise) を選択します
- アプリケーションのアクセス権限 (スコープ) を選択します
- Webhookを作成します
- アプリをアプリギャラリーに公開するか、統合として公開します
- Enterprise内のすべてのファイルおよびユーザーへのアクセス権限をリクエストします

[ドキュメントを表示](#)

認証方法

サーバー認証 (JWT使用)

- 外部コラボレーターとの統合やアプリの構築に最適です。[詳細を表示](#)
- アプリがJSONウェブトークンを使用して認証を行います。セキュリティを強化するには、公開キーと秘密キーのペアが必要です。

ユーザー認証 (OAuth 2.0)

- モバイルアプリやウェブアプリの構築に最適です。[詳細を表示](#)
- ユーザーがBoxログインを使用して認証を行う必要があります。

サーバー認証 (クライアント資格情報許可)

- スクリプト処理とバックオフィスの統合に最適です - [詳細を表示](#)
- アプリがクライアントIDとクライアントシークレットを使用して認証を行います。

アプリ名

intramart

[\[アプリの作成\] をクリックすると、Box Developer契約契約およびBoxライセンス契約に同意したことになります。](#)

[キャンセル](#) [\[アプリの作成\]](#)

5. 「アプリアクセスレベル」として「アプリ+Enterpriseアクセス」を選択します。

アプリアクセスレベル
アプリアクセスレベルは、アプリがアクセスできるユーザーおよびコンテンツを指定します。すべてのサーバー間のアプリは、デフォルトで、サービスアカウント(自動化ユーザー)のアクセストークンを使用して認証を行います。[サービスアカウントの詳細を表示](#)。

アプリアクセスのみ

- ✓ サービスアカウントとApp Userのみ。[詳細を表示](#)
- ✓ アプリによって作成されたコンテンツへのアクセス。
- ✗ Enterprise設定、コンテンツ、ユーザーの管理は不可。

アプリ + Enterpriseアクセス

- ✓ すべてのユーザー
- ✓ Enterprise設定、コンテンツ、ユーザーの管理。
- ✗ 外部の管理対象外ユーザーへの制限付きアクセス。

アプリケーションスコープ
アプリのスコープにより、アプリが呼び出すことができるエンドポイントとリソースが決まります。[すべてのスコープの詳細を表示](#)

コンテンツ操作
 Boxに格納されているすべてのファイルとフォルダの読み取り
コンテンツへのアクセスは、ユーザーの権限と使用するアクセストークンによってさらに制限されます。

Boxに格納されているすべてのファイルとフォルダへの書き込み
ファイルとフォルダをダウンロードするために必要です。コンテンツへのアクセスは、ユーザーの権限と使用するアクセストークンによってさらに制限されます。書き込みアクセス権限を選択する場合、読み取りアクセス権限が必要です。

6. 「アプリケーションスコープ」として、以下の2つが選択されていることを確認します。

- Boxに格納されているすべてのファイルとフォルダへの書き込み
- ユーザを管理する

アプリケーションスコープ
アプリのスコープにより、アプリが呼び出すことができるエンドポイントとリソースが決まります。[すべてのスコープの詳細を表示](#)

コンテンツ操作
 Boxに格納されているすべてのファイルとフォルダの読み取り
コンテンツへのアクセスは、ユーザーの権限と使用するアクセストークンによってさらに制限されます。

Boxに格納されているすべてのファイルとフォルダへの書き込み
ファイルとフォルダをダウンロードするために必要です。コンテンツへのアクセスは、ユーザーの権限と使用するアクセストークンによってさらに制限されます。書き込みアクセス権限を選択する場合、読み取りアクセス権限が必要です。

管理操作
 ユーザを管理する

グループを管理する

リテンションポリシーを管理する
[カレンスアドオン](#)で使用します。

Enterpriseのプロパティを管理する
イベントストリーム、Enterpriseの属性、デバイスの管理で使用します。このスコープを使用するには、アプリ + Enterpriseアクセスが必要です。

7. 「高度な機能」として「as-userヘッダーを使用してAPI呼び出しを行う」を選択します。

その後、「変更を保存」ボタンをクリックします。

一般設定 構成 Webhook 承認 アプリ診断

認証方法とアプリの権限を管理します

Enterpriseのプロパティを管理する
イベントストリーム、Enterpriseの属性、デバイスの管理で使用します。このスコープを使用するには、アプリ + Enterpriseアクセスが必要です。

開発者操作

Webhookを管理する
 統合を有効にする
 Box Relayを管理する
Box Relayエンドポイントと相互作用します。[Box Relay APIの詳細を表示](#)

高度な機能

as-userヘッダーを使用してAPI呼び出しを行う
 ユーザーアクセストークンを生成する
アプリケーションが資格情報を要求する代わりに、許可を使用して別のユーザーのアクセストークンを生成できるようにします

詳細を表示

公開キーの追加と管理

アプリのJWTリクエストに署名して認証するためのRSAキーペアを生成する

公開キーID: 8nwz74e5	削除
------------------	----

マイアカウントに戻る

8. 「公開キーの追加と管理」にて、「公開/秘密キーペアを生成」ボタンをクリックします。

一般設定 構成 Webhook 承認 アプリ診断

認証方法とアプリの権限を管理します

as-userヘッダーを使用してAPI呼び出しを行う
 ユーザーアクセストークンを生成する
アプリケーションが資格情報を要求する代わりに、許可を使用して別のユーザーのアクセストークンを生成できるようにします

公開キーの追加と管理

アプリのJWTリクエストに署名して認証するためのRSAキーペアを生成するか、独自の公開キーをアップロードします。独自のRSAキーペアを生成する方法を表示

CORSドメイン 許可する送信元(省略可)

APIへのCORSリクエストの送信が許可されている、カンマ区切りの送信元一覧。セキュリティの理由から、アプ

https://mydomain.com, https://mydomain2.com

マイアカウントに戻る

9. もしも画像のようなエラーが表示された場合は、この管理者アカウントに対して2段階認証の設定を有効にしてください。

10. <config.json>ファイルがダウンロードされます。このファイルは後ほど使用しますので、保存してください。

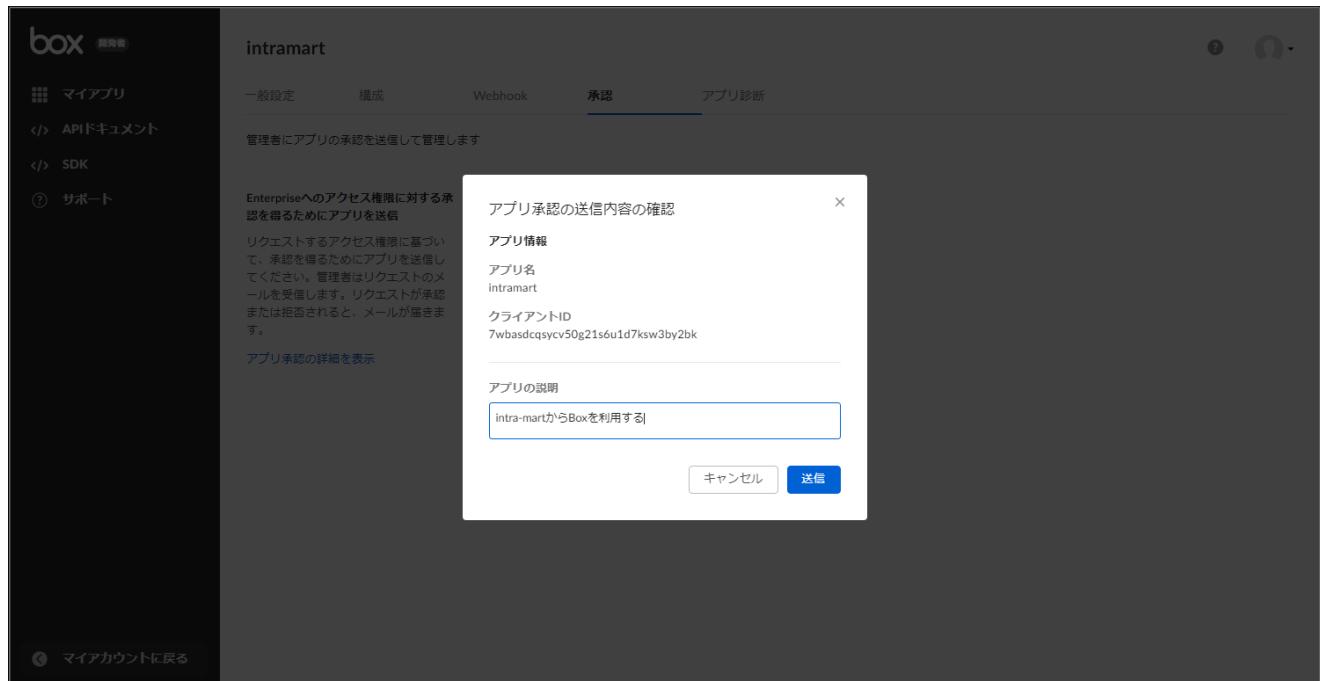
コラム

「アプリ設定」の「JSONとしてダウンロード」ボタンをクリックしても<config.json>ファイルがダウンロードされますが、このファイルには認証キー情報が含まれていません。
必ず「公開/秘密キーペアを生成」ボタンをクリックして<config.json>ファイルをダウンロードしてください。

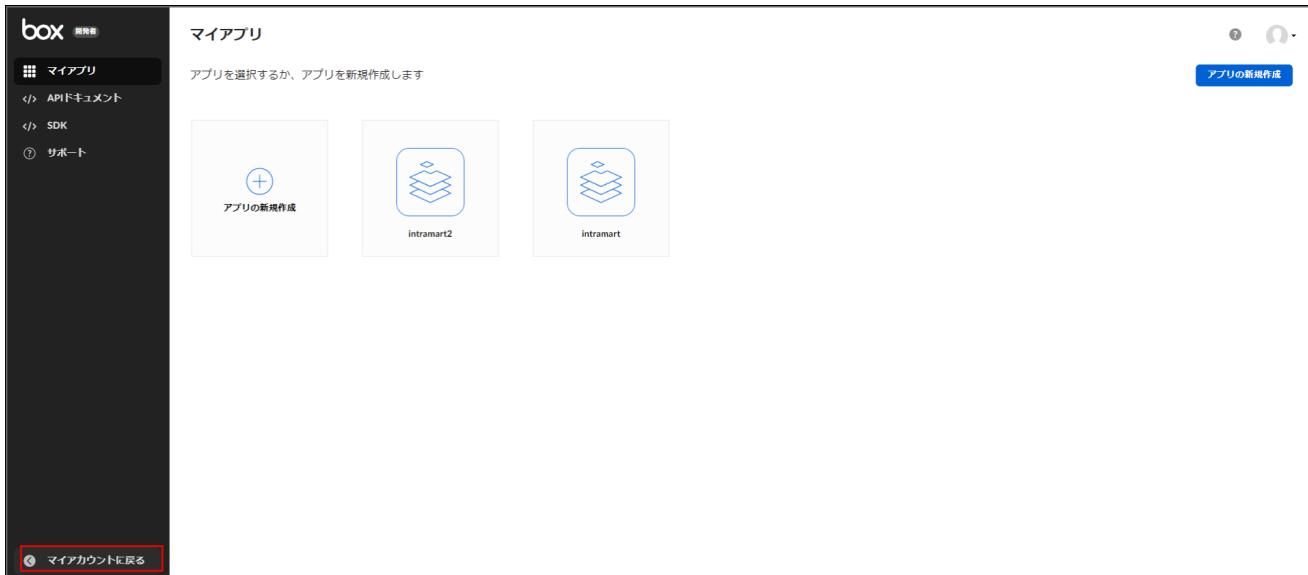
11. 「承認」タブをクリックし、「確認して送信」ボタンをクリックします。



12. 「アプリの説明」に任意の説明を入力し、「送信」ボタンをクリックします。



13. 「マイアカウントに戻る」をクリックし、ログイン直後の画面に戻ります。



14. 管理コンソールを開き、「カスタムアプリ」画面を開きます。

名前	更新日	サイズ
Meeting Notes	今日、更新者: [REDACTED]	0ファイル
Admin Guide.boxnote	今日、更新者: [REDACTED]	11.7 KB
Welcome to Box.pdf	今日、更新者: [REDACTED]	5 MB

15. 管理コンソールメニューの「アプリ」をクリックします。

The screenshot shows the Box Admin interface for NTTデータイトラマート. The left sidebar has a red box around the 'Custom Apps' option under the 'Platform' section. The main content area displays various metrics: 'ユーザー' (User) and 'ストレージ' (Storage) both show a value of 0, with a link to 'ユーザーの追加 | ライセンスの追加購入' (Add User | Add License Purchase). The 'グループ' (Group) section shows 0 groups with a link to 'グループを管理する' (Manage Groups) and 'フォルダとファイルレポートのエクスポート' (Export Folder and File Report). Below this is a chart titled 'ユーザーアクティビティ' (User Activity) showing activity levels from 0 to 8 over a 90-day period. A red box highlights the 'カスタムアプリ' (Custom App) tab in the top navigation bar.

16. 「カスタムアプリ」タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Custom Apps' configuration page. The 'Boxアプリと統合' tab is selected, while the 'カスタムアプリ' tab is highlighted with a red box. On the right, there are five dropdown menus for different app categories: 'デスクトップアプリ' (Desktop App), 'Androidアプリ' (Android App), 'iOSアプリ' (iOS App), 'サーバーアプリ' (Server App), and 'モバイルウェブおよびアクセシビリティ' (Mobile Web and Accessibility). A blue '保存' (Save) button is located at the top right. The left sidebar has a red box around the 'Custom Apps' option under the 'Platform' section.

17. 手順12.で送信したアプリが一覧に表示されているので、「・・・」ボタンをクリックし、「アプリを承認」をクリックします。

The screenshot shows the 'Custom Apps' section of the Box Admin Console. On the left is a sidebar with various navigation options like 'Insite', 'User & Groups', 'Content', etc. The main area has a search bar at the top. Below it, tabs for 'Box Apps & Integration' and 'Custom Apps' are visible, with 'Custom Apps' being the active tab. A message about enterprise access rights is displayed. The list of custom apps shows one entry: 'intramart' (Last updated: 2021年11月10日). To the right of the app name are status indicators: '保留中の承認' (Pending Approval) and '無効' (Disabled). A three-dot menu icon is highlighted with a red box. A dropdown menu is open, showing three options: 'アプリを承認' (Approve App), 'アプリを拒否' (Reject App), and 'アプリの詳細を表示' (View App Details). The 'Approve App' option is also highlighted with a red box.

BoxユーザIDの確認

Box連携 IM-LogicDesignerタスクを利用する際には、接続先のBoxユーザのIDが必要です。

BoxユーザのIDは、対象のユーザでBoxにログインした後、右上メニュー→「アカウント設定」→「アカウント」タブ→「アカウントの詳細」→「アカウントID」より確認可能です。

The screenshot shows the 'Account Settings' page in the Box Admin Console. The left sidebar includes 'すべてのファイル', '履歴', '同期済み', 'Notes', 'Relay', 'ごみ箱', 'マイコレクション', and 'お気に入り'. The main area has a search bar and a 'Upgrade Plan' button. The 'Account' tab is selected. The 'Account Details' section contains fields for 'Account Type' (highlighted with a red box) and 'Account ID' (highlighted with a red box, containing '2795383'). Other account details like storage usage, file size limits, login address, and contact information are also listed.

図：「アカウント設定」画面の「アカウントID」

または、管理者でBoxにログインし、「管理コンソール」→「コンテンツ」→「コンテンツマネージャ」にて一覧から対象のユーザをクリックした際、URLアドレスの `content/` 以降に表示されています。

The screenshot shows the Box Content Manager interface. The left sidebar contains navigation links: インサイト, ユーザーとグループ, コンテンツ, レポート, カバナンス, Relay, Platform, アプリ, アカウントと請求, and Enterprise設定. The main area has tabs for コンテンツマネージャ and メタデータ, with the former selected. The title bar shows 'コンテンツマネージャ / [REDACTED] のファイル'. A search bar at the top says 'すべてのユーザーのファイルを検索'. Below it is a user filter titled 'ユーザー別フィルタ' with '管理者' selected. The main content area displays a table of files and folders:

名前	更新日	種類	操作
abc	2021/11/18	0	4
FileRequestTemplate	2021/11/16	0	0
Box Reports	2021/11/15	0	1
Meeting Notes	2021/11/09	0	0
shared.txt	2021/11/16		
hello.txt	2021/11/11		
test2.txt	2021/11/10		
test0.txt	2021/11/10		
Admin Guide.boxnote	2021/11/09		
Welcome to Box.pdf	2021/11/09		

図：「コンテンツマネージャ」画面のURLアドレス

項目

- モジュールの追加
- 設定ファイルのアップロード
- BoxユーザIDとiAPユーザのマッピング
- BoxユーザIDとiAPユーザの一括マッピングジョブ
 - セットアップ方法
 - ジョブ実行方法

ここでは Box連携 のインストールと設定手順のうち、 intra-mart Accel Platform にて行う事項を説明します。

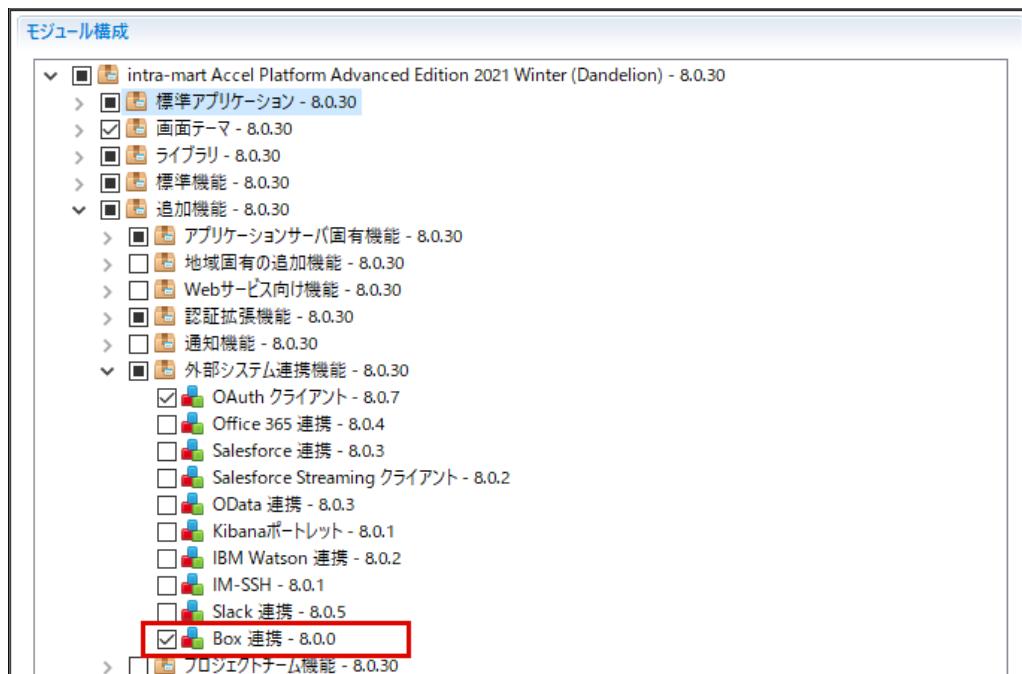
インストールと設定は、 IM-Juggling 、および、設定ファイルアップロード画面にて行います。

以下の手順を行うことで Box連携 を intra-mart Accel Platform 上で利用できます。

モジュールの追加

Box連携 を利用するため、追加機能より「Box 連携」モジュールを選択し WARファイルを作成します。

1. [追加機能 - 外部システム連携機能 - Box 連携]モジュールを選択します。



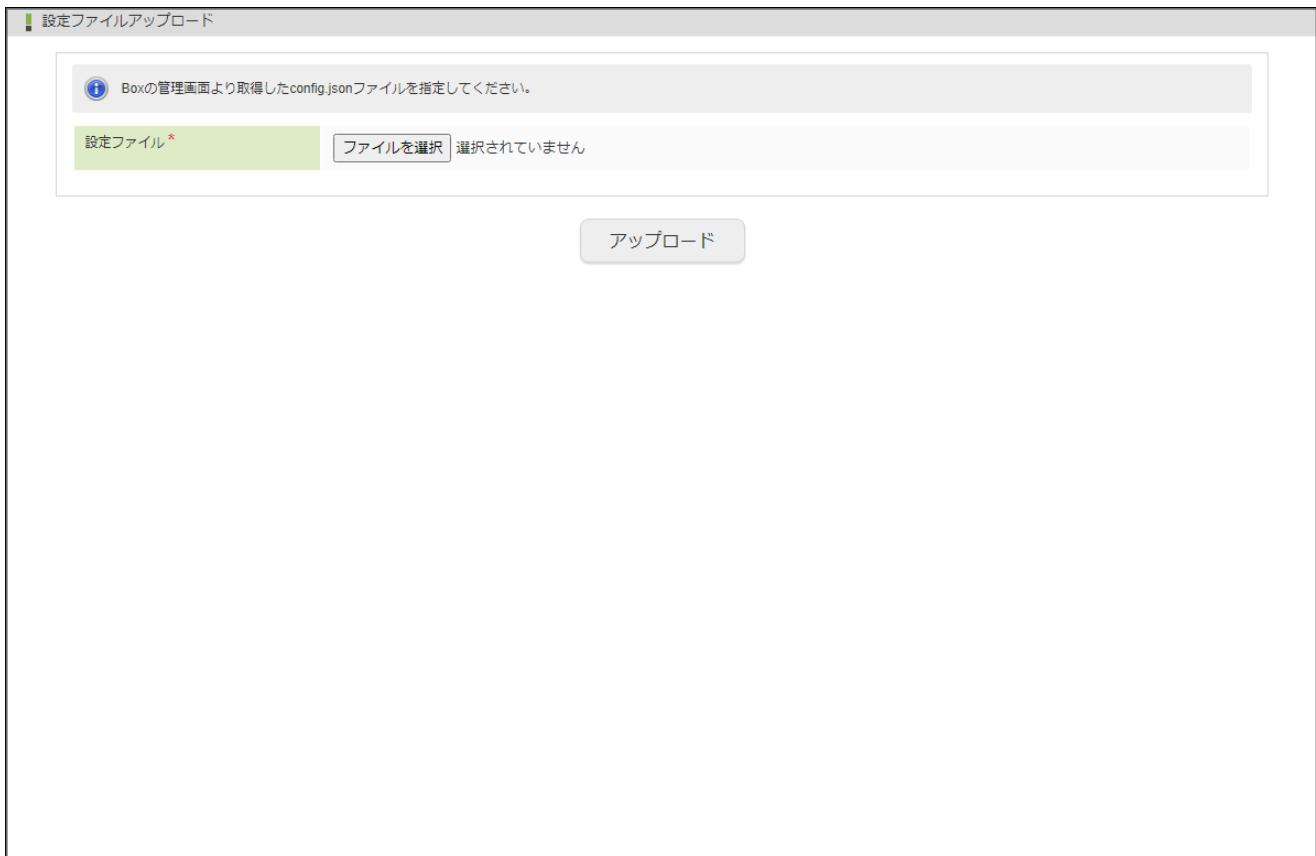
図：「IM-Juggling モジュール構成」画面

2. その他、任意の設定を行い、WARファイルを作成します。

設定ファイルのアップロード

Box 開発者コンソールからダウンロードした設定ファイルを intra-mart Accel Platform にアップロードし、登録します。登録した設定ファイルは、 Box への接続時の認証に用いられます。

1. テナント管理者でログインし、「サイトマップ」→「Box」→「Box連携設定」をクリックし、「設定ファイルアップロード」画面を開きます。



図：「設定ファイルアップロード」画面

2. 「設定ファイル」に、[Box管理者コンソール](#)からダウンロードした<config.json>ファイルを指定します。
3. 「アップロード」ボタンをクリックします。

BoxユーザIDとiAPユーザのマッピング

Boxユーザに対応するiAPユーザが存在する場合、intra-mart Accel Platform にBoxユーザIDを登録しておくことができます。

BoxユーザIDを登録したiAPユーザは、[ユーザ切り替えタスク](#)において、BoxユーザIDを直接指定する代わりにユーザコードを指定できます。

BoxユーザIDの確認方法については、[BoxユーザIDの確認](#)を参照してください。

intra-mart Accel Platform にBoxユーザIDを登録する方法は、以下の通りです。

1. 対象のユーザでintra-mart Accel Platform ヘログインし、サイトマップより「個人設定」 - 「プロファイル」をクリックします。
2. ツールバーの「外部システムユーザ識別子設定」をクリックします。

プロファイル情報

ユーザコード	aoyagi
性別	男性
プロファイル画像	

日本語

ユーザ名*	青柳辰巳
フリガナ	アオヤギ タツミ
国コード	
郵便番号	
住所1	
住所2	
住所3	
電話番号	
内線番号	
FAX番号	
内線FAX番号	
携帯電話番号	
メールアドレス1	

図：「プロファイル」画面

3. 外部システム名が「Box」の行の「ユーザ識別子」に連携先のBoxユーザIDを貼り付けて「変更」ボタンをクリックします。

外部システムユーザ識別子設定

外部システムと連携する場合に使用するユーザ情報を設定します。

外部システム名	ユーザ識別子
Box	2795383
CloudSign	

変更

図：「外部システムユーザ識別子設定」画面

BoxユーザIDとiAPユーザの一括マッピングジョブ

intra-mart Accel Platform 2022 Winter(Freesia) 以降では、連携先のBoxに存在するユーザのIDを、intra-mart Accel Platform に一括登録

この機能は、ジョブ・ジョブネットにて提供しています。

紐づけには、Boxユーザのメールアドレスと、iAPのユーザプロファイルに設定された「メールアドレス1」の値を利用します。

本機能では、上記メールアドレスが同一であるユーザーの「外部システムユーザ識別子」に対して、BoxユーザIDを自動で一括登録します。

本機能は、intra-mart Accel Platform 2022 Winter(Freesia) 以降でテナント環境セットアップを行うことで、ジョブネット管理画面から実行できます。

i コラム

連携先Boxのユーザーのメールアドレスとユーザープロファイルの「メールアドレス1」が等しいユーザーに対して既に「外部システムユーザ識別子」が登録されている場合は、本ジョブの実行によって上書きされます。

また、以下のiAPユーザーには影響を与えません。

- ユーザプロファイルの「メールアドレス1」が空欄であるユーザー
- 「メールアドレス1」に設定されたメールアドレスが連携先Boxに登録されていないユーザー

対象ユーザーは、ジョブ実行時点で有効なユーザーのみです。

セットアップ方法

1. 追加機能より「Box 連携」モジュールを選択し WARファイルを作成します。このとき、「Box 連携」のバージョンが8.0.2以降であることを確認します。



図：「IM-Juggling モジュール構成」画面

2. WARファイルのデプロイ後、テナント環境セットアップを実行することにより、ジョブ・ジョブネットがインポートされます。
3. Boxユーザーと紐づけたいiAPユーザーに対し、共通マスタ画面より、プロファイルの「メールアドレス1」を設定します。

設定するメールアドレスは、紐づけの対象とするBoxユーザーのメールアドレスと同じものとしてください。

現在のロケール 日本語
性別 男性 女性 その他 回答しない
ユーザー名 * フリガナ
国コード
郵便番号
住所 1
住所 2
住所 3
電話番号
内線番号
FAX番号
内線FAX番号
携帯電話番号
メールアドレス 1
メールアドレス 2
携帯メールアドレス
URL
備考
ソートキー *

図：「ユーザ詳細」画面 - 「プロファイル」タブ

ジョブ実行方法

1. テナント管理者でログインします。
2. ジョブネット管理画面を開き、[ジョブネット一覧 - IM-Box - Boxユーザー括連携]を選択します。

ジョブネットID	IM-Box
box-external-system-user-mapping-job	

ジョブネット名	日本語	英語	中国語(中国)
Boxユーザー括連携	Box User Batch Linkage		Box用户批量对接

図：「ジョブネット管理」画面

3. 即時実行ボタンをクリックします。

項目

- 概要
- 各タスクの説明
 - ユーザ切り替えタスク
 - 入力値
 - 出力値
 - Boxストレージ取得タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - ファイルをロックタスク
 - 入力値
 - 出力値
 - ファイルをアンロックタスク
 - 入力値
 - 出力値
 - メタデータ取得タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - メタデータ作成タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - メタデータ更新タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - メタデータ削除タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - 共有リンク取得タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - 共有リンク作成タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - 共有リンク削除タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - ファイルリクエスト取得タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - ファイルリクエストコピータスク
 - 入力値
 - 出力値
 - ファイルリクエスト更新タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - ファイルリクエスト削除タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - ファイル・フォルダID取得タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - 埋め込みウィジェットタグ取得タスク
 - 入力値

- 出力値
- コラボレータ追加・更新タスク
 - 入力値
 - 出力値
- コラボレータ削除タスク
 - 入力値
 - 出力値

概要

Box連携 IM-LogicDesignerタスクには、大きく分けて以下の3種類のタスクが存在します。

- ユーザ切り替えタスク
接続先のBoxユーザを切り替えるタスクです。ロジックフローに必ず配置する必要があります。
- Boxストレージ取得タスク
Box上のファイル操作を行う際には、このタスクが返却する仮想的なストレージを通して行います。
- 他のタスク
ファイルのロック・アンロックなど、ストレージを介さない操作のためのタスク群です。

Box上のファイル・フォルダを操作するロジックフローを作成する際には、他のBox連携 IM-LogicDesignerタスクよりも前に、ユーザ切り替えタスクを必ず配置してください。

コラム

IM-LogicDesignerタスクの入力値としてBoxのファイル・フォルダのパスを指定する際には、ルートフォルダからの絶対パスを指定してください。

例えば以下の図のように abc フォルダ内に存在する test1.txt を指定する際には、"abc/test1.txt" と指定してください。



各タスクの説明

ユーザ切り替えタスク

接続先のBoxユーザを指定するタスクです。

このタスク以降に配置したBox連携 IM-LogicDesignerタスクによる操作は、このタスクで指定したユーザとして行われます。
必ず他のBox連携 IM-LogicDesignerタスクより前に配置してください。

接続先のBoxユーザを指定するには、以下の2通りの入力値のいずれかを利用します。

- BoxユーザID
接続先のBoxユーザのIDを直接指定する方法です。
BoxユーザIDの確認方法については、[BoxユーザIDの確認](#)を参照してください。
- ユーザコード
外部システムユーザ識別子としてBoxユーザのIDを登録済であるユーザの、ユーザコードを指定する方法です。
外部システムユーザ識別子の登録方法については、[BoxユーザIDとiAPユーザのマッピング](#)を参照してください。

入力値

```
im_boxAsUser <object>
├─ boxUserId <string>
└─ userCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxAsUser	任意	object	なし	-
boxUserId	任意 (userCdと 択一)	string	なし	BoxユーザID
userCd	任意 (boxUserId と択一)	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_boxAsUser <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxAsUser	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

Boxストレージ取得タスク

Box上のファイル・フォルダに相当する仮想的なストレージを取得します。

取得したBoxストレージは、ストレージ操作タスクと組み合わせることにより任意の操作を行うことが可能です。

例えば、ストレージ出力タスクを利用してBox上のファイルに書き込みを行ったり、ストレージファイル読み込みタスクを利用してBox上のファイルを読みこむことができます。

入力値

```
im_boxGetBoxStorage <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxGetBoxStorage	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの、Boxのルートフォルダからの絶対パス

出力値

```
im_boxGetBoxStorage <storage>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxGetBoxStorage	storage	なし	取得したBoxストレージ

ファイルをロックタスク

指定したファイルをロックするタスクです。

入力値

```
im_boxLockFile <object>
├─ path <string>
└─ expiresAt <string>
└─ isDownloadPrevented <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxLockFile	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイルの絶対パス
expiresAt	任意	string	なし	有効期限日時 (ISO8601形式の日付フォーマット)
isDownloadPrevented	任意	boolean	なし	ロックがダウンロードも禁止するか

出力値

```
im_boxLockFile <object>
└─ createdAt <string>
└─ createdBy <string>
└─ expiresAt <string>
└─ id <string>
└─ isDownloadPrevented <boolean>
└─ type <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxLockFile	object	なし	-
createdAt	string	なし	作成日時 (ISO8601形式の日付フォーマット)
createdBy	string	なし	ロックの作成者
expiresAt	string	なし	有効期限日時 (ISO8601形式の日付フォーマット)
id	string	なし	ロックID
isDownloadPrevented	boolean	なし	ロックがダウンロードも禁止しているか
type	string	なし	ロックのタイプ

ファイルをアンロックタスク

指定したファイルのロックを解除するタスクです。

入力値

```
im_boxUnlockFile <object>
└─ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxUnlockFile	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイルの絶対パス

出力値

```
im_boxUnlockFile <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxUnlockFile	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

メタデータ取得タスク

指定したファイル・フォルダのメタデータを取得するタスクです。

入力値

```
im_boxGetMetadata <object>
└─templateName <string>
└─scope <string>
└─path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxGetMetadata	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス
templateName	任意	string	なし	メタデータテンプレート名
scope	任意	string	なし	メタデータテンプレートのスコープ

出力値

```
im_boxGetMetadata <map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxGetMetadata	map	なし	メタデータのキー/値のマップ。

メタデータ作成タスク

指定したファイル・フォルダにメタデータを作成するタスクです。

入力値

```
im_boxCreateMetadata <object>
└─metadata <map>
└─templateName <string>
└─scope <string>
└─path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxCreateMetadata	任意	object	なし	-
metadata	必須	map	なし	メタデータのキー/値のマップ。
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス
templateName	任意	string	なし	メタデータテンプレート名
scope	任意	string	なし	メタデータテンプレートのスコープ

出力値

```
im_boxCreateMetadata <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxCreateMetadata	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。



コラム

作成したメタデータはカスタムメタデータとして扱われます。
 メタデータのキーの文字列には、/を含むことができません。
 また、メタデータの値はstring、または、いずれかの数値型のみが利用されます。

メタデータ更新タスク

指定したファイル・フォルダのメタデータを更新するタスクです。

新しいメタデータの中に、古いメタデータと同一のキーのものがある場合は上書きします。

入力値

```
im_boxUpdateMetadata <object>
└─ metadata <map>
└─ templateName <string>
└─ scope <string>
└─ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxUpdateMetadata	任意	object	なし	-
metadata	必須	map	なし	メタデータのキー/値のマップ。
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス
templateName	任意	string	なし	メタデータテンプレート名
scope	任意	string	なし	メタデータテンプレートのスコープ

出力値

```
im_boxUpdateMetadata <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxUpdateMetadata	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。



コラム

作成したメタデータはカスタムメタデータとして扱われます。
メタデータのキーの文字列には、/ を含むことができません。
また、メタデータの値はstring、または、いずれかの数値型のみが利用されます。

メタデータ削除タスク

指定したファイル・フォルダのメタデータを削除するタスクです。

入力値

```
im_boxDeleteMetadata <object>
└─ templateName <string>
└─ scope <string>
└─ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteMetadata	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス
templateName	任意	string	なし	メタデータテンプレート名
scope	任意	string	なし	メタデータテンプレートのスコープ

出力値

```
im_boxDeleteMetadata <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteMetadata	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

指定したファイル・フォルダの共有リンクを取得するタスクです。

入力値

```
im_boxGetSharedLink <object>
└ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxGetSharedLink	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス

出力値

```
im_boxGetSharedLink <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxGetSharedLink	string	なし	共有リンクのURL

共有リンク作成タスク

指定したファイル・フォルダの共有リンクを作成するタスクです。

入力値

```
im_boxCreateSharedLink <object>
└ access <string>
└ canDownload <boolean>
└ canEdit <boolean>
└ canPreview <boolean>
└ password <string>
└ path <string>
└ unsharedDate <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxCreateSharedLink	任意	object	なし	-
access	任意	string	なし	共有リンクのアクセス権限。以下のいずれかの文字列を指定してください。 指定しない場合は DEFAULT が用いられます。
				<ul style="list-style-type: none"> ▪ OPEN リンクを知っているすべての人 ▪ COLLABORATORS 協働者内 ▪ COMPANY 会社内 ▪ DEFAULT ユーザ、または、エンタープライズの設定に従う
canDownload	任意	boolean	なし	ダウンロードを許可する場合は true 、禁止する場合は false
canEdit	任意	boolean	なし	編集可能を許可する場合は true 、禁止する場合は false
canPreview	任意	boolean	なし	プレビューを許可する場合は true 、禁止する場合は false
password	任意	string	なし	パスワード
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
unsharedDate	任意	string	なし	共有期限の日時（ISO8601形式の日付フォーマット）

出力値

```
im_boxCreateSharedLink <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxCreateSharedLink	string	なし	共有リンクのURL



共有リンクが既に存在するファイル・フォルダを指定した場合、共有リンクの情報は上書きされます。

accessに対して、COLLABORATORS を指定した場合、または、共有リンクが既に「招待されたユーザのみ」を対象として作成済みという状態において DEFAULT を指定した場合、同時にcanDownload、および、canPreviewの指定はできません。これらの場合、指定しても無効です。

2022年8月現在、canPreviewを指定しても、Boxサーバ側では常に true として扱われます。

共有リンク削除タスク

指定したファイル・フォルダの共有リンクを削除するタスクです。

入力値

```
im_boxDeleteSharedLink <object>
└ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteSharedLink	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス

出力値

```
im_boxDeleteSharedLink <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteSharedLink	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ファイルリクエスト取得タスク

指定したファイルリクエストの情報を取得するタスクです。

入力値

```
im_boxGetFileInfo <object>
└ id <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxGetFileInfo	任意	object	なし	-
id	必須	string	なし	取得対象のファイルリクエストのID

出力値

```

im_boxGetFileRequestInfo <object>
├─ baseUrl <string>
├─ createdAt <string>
├─ createdBy <string>
├─ description <string>
├─ etag <string>
├─ expiresAt <string>
├─ folder <string>
├─ id <string>
├─ isDescriptionRequired <boolean>
├─ isEmailRequired <boolean>
├─ path <string>
├─ resource <string>
├─ status <string>
├─ title <string>
├─ type <string>
├─ updatedAt <string>
└─ updatedBy <string>
└─ url <string>

```

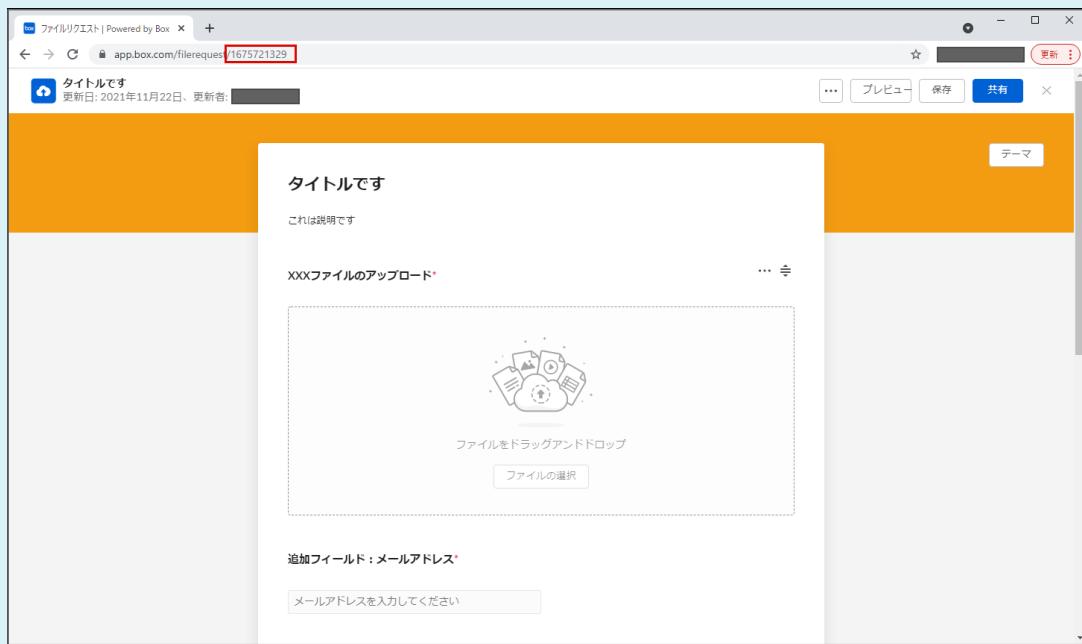
項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxGetFileRequestInfo	object	なし	-
baseUrl	string	なし	ファイルリクエストURLのベースURL
createdAt	string	なし	作成日時 (ISO8601形式の日付フォーマット)
createdBy	string	なし	作成者名
description	string	なし	説明
etag	string	なし	ETag文字列
expiresAt	string	なし	有効期限の日時 (ISO8601形式の日付フォーマット)
folder	string	なし	フォルダ名
id	string	なし	ファイルリクエストのID
isDescriptionRequired	boolean	なし	説明の入力が必要な場合は true
isEmailRequired	boolean	なし	メールアドレスの入力が必要な場合は true
path	string	なし	ファイルリクエストURLのベースURL以降のパス
resource	string	なし	紐づクリソース名
status	string	なし	ファイルリクエストが有効な場合は ACTIVE、そうでない場合は INACTIVE
title	string	なし	ファイルリクエストのタイトル
type	string	なし	ファイルリクエストのタイプを意味する文字列
updatedAt	string	なし	更新日時 (ISO8601形式の日付フォーマット)
updatedBy	string	なし	更新者名
url	string	なし	ファイルリクエストURL



コラム

ファイルリクエスト取得タスクの実行に必要なファイルリクエストIDは、Boxにログインしてファイルリクエストの編集画面にアクセスした際のURLに含まれています。

例えば以下のファイルリクエスト編集画面であれば、ファイルリクエストIDは 1675721329 です。



ファイルリクエストコピータスク

指定したファイルリクエストの情報をテンプレートとし、それを指定した別のフォルダにコピーして新しいファイルリクエストを作るタスクです。

新しいファイルリクエストには、入力値に指定した情報がテンプレートを上書きして適用されます。

入力値

```
im_boxCopyFileRequestInfo <object>
|_ id <string>
|_ info <object>
| |_ description <string>
| |_ etag <string>
| |_ expiresAt <date>
| |_ isDescriptionRequired <boolean>
| |_ isEmailRequired <boolean>
| |_ status <string>
| |_ title <string>
| |_ type <string>
|_ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxCopyFileRequestInfo	任意	object	なし	-
id	必須	string	なし	コピー元となるファイルリクエストのID
info	任意	object	なし	-
description	任意	string	なし	説明
etag	任意	string	なし	ETag文字列
expiresAt	任意	date	なし	有効期限の日時
isDescriptionRequired	任意	boolean	なし	説明の入力が必要な場合は true
isEmailRequired	任意	boolean	なし	メールアドレスの入力が必要な場合は true
status	任意	string	なし	ファイルリクエストが有効な場合は ACTIVE、そうでない場合は INACTIVE

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
title	任意	string	なし	ファイルリクエストのタイトル
type	任意	string	なし	タイプ
path	必須	string	なし	ファイルリクエストのコピー先のフォルダパス

出力値

```
im_boxCopyFileInfo <object>
├─ baseUrl <string>
├─ createdAt <string>
├─ createdBy <string>
├─ description <string>
├─ etag <string>
├─ expiresAt <string>
├─ folder <string>
├─ id <string>
├─ isDescriptionRequired <boolean>
├─ isEmailRequired <boolean>
├─ path <string>
├─ resource <string>
├─ status <string>
├─ title <string>
├─ type <string>
├─ updatedAt <string>
└─ updatedBy <string>
└─ url <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxCopyFileInfo	object	なし	-
baseUrl	string	なし	ファイルリクエストURLのベースURL
createdAt	string	なし	作成日時 (ISO8601形式の日付フォーマット)
createdBy	string	なし	作成者名
description	string	なし	説明
etag	string	なし	ETag文字列
expiresAt	string	なし	有効期限の日時 (ISO8601形式の日付フォーマット)
folder	string	なし	フォルダ名
id	string	なし	ファイルリクエストのID
isDescriptionRequired	boolean	なし	説明の入力が必要な場合は true
isEmailRequired	boolean	なし	メールアドレスの入力が必要な場合は true
path	string	なし	ファイルリクエストURLのベースURL以降のパス
resource	string	なし	紐づクリソース名
status	string	なし	ファイルリクエストが有効な場合は ACTIVE、そうでない場合は INACTIVE
title	string	なし	ファイルリクエストのタイトル
type	string	なし	ファイルリクエストを意味する文字列
updatedAt	string	なし	更新日時 (ISO8601形式の日付フォーマット)
updatedBy	string	なし	更新者名
url	string	なし	ファイルリクエストURL

コラム

ファイルリクエストコピータスクの出力値は、コピー元となったファイルリクエストの情報です。
新しく作成したファイルリクエストの情報ではありません。

指定したファイルリクエストの情報を、入力値に指定した情報で更新するタスクです。

入力値

```
im_boxUpdateFileInfo <object>
└─ id <string>
└─ info <object>
    └─ description <string>
    └─ etag <string>
    └─ expiresAt <date>
    └─ isDescriptionRequired <boolean>
    └─ isEmailRequired <boolean>
    └─ status <string>
    └─ title <string>
    └─ type <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxUpdateFileInfo	任意	object	なし	-
id	必須	string	なし	更新の対象とするファイルリクエストのID
info	任意	object	なし	-
description	任意	string	なし	説明
etag	任意	string	なし	ETag文字列
expiresAt	任意	date	なし	有効期限の日時
isDescriptionRequired	任意	boolean	なし	説明の入力が必要な場合は true
isEmailRequired	任意	boolean	なし	メールアドレスの入力が必要な場合は true
status	任意	string	なし	ファイルリクエストが有効な場合は ACTIVE、そうでない場合は INACTIVE
title	任意	string	なし	ファイルリクエストのタイトル
type	任意	string	なし	タイプ

出力値

```
im_boxUpdateFileInfo <object>
└─ baseUrl <string>
└─ createdAt <string>
└─ createdBy <string>
└─ description <string>
└─ etag <string>
└─ expiresAt <string>
└─ folder <string>
└─ id <string>
└─ isDescriptionRequired <boolean>
└─ isEmailRequired <boolean>
└─ path <string>
└─ resource <string>
└─ status <string>
└─ title <string>
└─ type <string>
└─ updatedAt <string>
└─ updatedBy <string>
└─ url <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxCopyFileInfo	object	なし	-
baseUrl	string	なし	ファイルリクエストURLのベースURL
createdAt	string	なし	作成日時 (ISO8601形式の日付フォーマット)

項目名	型	配列/リスト	説明
createdBy	string	なし	作成者名
description	string	なし	説明
etag	string	なし	ETag文字列
expiresAt	string	なし	有効期限の日時 (ISO8601形式の日付フォーマット)
folder	string	なし	フォルダ名
id	string	なし	ファイルリクエストのID
isDescriptionRequired	boolean	なし	説明の入力が必要な場合は true
isEmailRequired	boolean	なし	メールアドレスの入力が必要な場合は true
path	string	なし	ファイルリクエストURLのベースURL以降のパス
resource	string	なし	紐づクリソース名
status	string	なし	ファイルリクエストが有効な場合は ACTIVE、そうでない場合は INACTIVE
title	string	なし	ファイルリクエストのタイトル
type	string	なし	ファイルリクエストを意味する文字列
updatedAt	string	なし	更新日時 (ISO8601形式の日付フォーマット)
updatedBy	string	なし	更新者名
url	string	なし	ファイルリクエストURL

ファイルリクエスト削除タスク

指定したファイルリクエストの情報を削除するタスクです。

入力値

```
im_boxDeleteFileRequestInfo <object>
└ id <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteFileRequestInfo	任意	object	なし	-
id	必須	string	なし	削除の対象とするファイルリクエストのID

出力値

```
im_boxDeleteFileRequestInfo <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteFileRequestInfo	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ファイル・フォルダID取得タスク

指定したファイル・フォルダのIDを取得するタスクです。

入力値

```
im_boxGetItemId <object>
└ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxGetItemId	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	取得対象のファイル・フォルダの絶対パス

出力値

```
im_boxGetItemId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxGetItemId	string	なし	ファイル・フォルダのID

埋め込みウィジェットタグ取得タスク

指定した共有リンクURLから埋め込みウィジェットのhtmlタグ文字列を生成するタスクです。

文字列は<iframe>タグで表現されます。

省略可能なパラメータを省略した場合は、出力されるhtmlタグ内のパラメータも省略されます。

入力値

```
im_boxGetWidgetTag <object>
├─ url <string>
├─ view <string>
└─ sortColumn <string>
└─ sortDirection <string>
└─ showParentPath <boolean>
└─ showItemFeedActions <boolean>
└─ width <string>
└─ height <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxGetWidgetTag	任意	object	なし	-
url	必須	string	なし	ファイルまたはフォルダの共有リンクURL。 共有リンクについては、「 共有リンク取得タスク 」や「 共有リンク作成タスク 」で取得可能です。
view	任意	string	なし	ファイルまたはフォルダの表示方法の種類。 一覧とする場合は <code>list</code> 、グリッドとする場合は <code>icon</code>
sortColumn	任意	string	なし	ファイルまたはフォルダを並べ替える順番。 日付順とする場合は <code>date</code> 、名前順とする場合は <code>name</code> 、 ファイルサイズ順とする場合は <code>size</code>
sortDirection	任意	string	なし	ファイルまたはフォルダの並べ替えの方向。 昇順とする場合は <code>ASC</code> 、降順とする場合は <code>DESC</code>
showParentPath	任意	boolean	なし	フォルダパスを表示する場合は <code>true</code> 、非表示とする場合は <code>false</code>
showItemFeedActions	任意	boolean	なし	アクティビティフィードを表示する場合は <code>true</code> 、非表示とする場合は <code>false</code>
width	必須	int	なし	ウィジェットの幅
height	必須	int	なし	ウィジェットの高さ

出力値

```
im_boxGetWidgetTag <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxGetWidgetTag	string	なし	ウィジェットのhtmlタグ文字列表現

コラボレータ追加・更新タスク

ファイル・フォルダに対するユーザのアクセス権限の追加・更新タスクです。

入力値

```
im_boxAddOrUpdateCollaboration <object>
|--- path <string>
|--- boxUserId <string>
|--- userCd <string>
|--- accessLevel <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxAddOrUpdateCollaboration	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス
boxUserId	任意 (userCdと 選一)	string	なし	BoxユーザID
userCd	任意 (boxUserId と選一)	string	なし	ユーザコード
accessLevel	必須	string	なし	アクセスの権限レベル。以下のいずれかの文字列を指定してください。
				<ul style="list-style-type: none"> ▪ CO_OWNER 共同所有者 ▪ EDITOR 編集者 ▪ VIEWER_UPLOADER ビューアー/アップローダー ▪ PREVIEWER_UPLOADER プレビューアー/アップローダー ▪ VIEWER ビューアー ▪ PREVIEWER プレビューアー ▪ UPLOADER アップローダー

出力値

```
im_boxAddOrUpdateCollaboration <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxAddOrUpdateCollaboration	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。



権限「所有者」を付与すると、ファイル・フォルダのパスが変更されるなどの副次的な挙動を取る場合があります。
このため accessLevel に OWNER を指定することには対応していません。

コラボレータ削除タスク

ファイル・フォルダに対するユーザアクセス権限の削除タスクです。

入力値

```
im_boxDeleteCollaboration <object>
|_ path <string>
|_ boxUserId <string>
└ userCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteCollaboration	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス
boxUserId	任意 (userCdと 択一)	string	なし	BoxユーザID
userCd	任意 (boxUserId と択一)	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_boxDeleteCollaboration <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteCollaboration	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

intra-mart は株式会社エヌ・ティ・ティ・データイントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Box は、Box (Box, Inc.) のオンラインストレージサービスです。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上